



初めての宮崎市街地での開催決定！ 多くの人にスギコレの魅力伝えるチャンス！

8回目の開催となった杉コレ2012は宮崎市での開催となった。宮崎市で行われるのは、第2回杉コレに次いで2回目となる。2回目だからといってスムーズに行くはずもなく、むしろ初めてのことが多く、新たな課題が山積していた。

まずは、今回は市街地での開催となったことである。多くの人に「杉コレ」の作品や木に触れていただき、その魅力を伝えられる絶好の機会となり得るが、人の多い市街地に大きな実物大作品を設置、撤去することを考えるとかなりのリスクも含んでいる。

会場は市内のメインストリート、橋通りをばさんで、みやぎアートセンターと若草通の2カ所に分かれることとなった。会場となる若草通商店街は、イベント当日も普段通り営業しているお店も多く、開催時間も、昼の12時から夕方5時までとかなり限定的なものとなる。

若草通は直前まで車が通行しているため、作品の設置は12時を過ぎてから数十分以内で完了しなくては本番に間に合わない。また完了後も同じく速やかな撤収が必要となる。作品は、いずれも屋台の形態となり、移動は簡単なはずではあるが、審査次第で予想を遥かに超えた作品が残る可能性もある。大型の作品が審査を通過するとこれも難しい課題となる。

作品の製作準備以上に、当日の作品設置と撤収に神経を集中することになった。



岩手県野田村の子どもたちを 宮崎に招待したい！

昨年、日向で実施した子ども杉コレでグランプリを獲得した「だっこのいす」は、震災で親を亡くした子どもたちへの想いを込めた作品で、そのコンセプトに賛同した審査委員長はじめ有志メンバーたちによって、この作品を東北へ贈ることになったのである。

その活動の中で岩手県野田村との交流が生まれ、今年は、野田村の小田村長をはじめ野田小学校の児童を数名招待し、一緒に杉コレに参加してもらおうというのである。

実行委員会メンバーは、杉コレ当日まで、いつも以上にさまざまな準備と、難しい調整に追われた。



杉コレ2012 総評

審査委員長 内藤 廣氏 建築家

初めて市街地での真ん中で催されるということで、当初、今年の杉コレはどうなることかと心配していた。おまけに当日は小雨が降る天候だった。ところがフタを開けてみると、たくさんの人が興味を持って集まってくれた。

なにより、岩手県野田村の小田村長と子供部門に参加してくれた野田小学校の子供たちとお母さんが参加してくれたことが大きかった。野田村と宮崎県は、去年の子供部門のグランプリである安田圭沙ちゃん、「だっこのいす」をきっかけに、杉コレを介して野田村と宮崎の絆が深まりつつある。子供部門では野田村枠を設け、子供たちから提案をつくり、そのうち三点を宮崎側で作って展示したのである。これらは野田村に送られ、やがて祭りなどで活躍することだろう。また、「だっこのいす」を東北へ送るプロジェクト」がグッドデザイン賞を獲得し、その授与に東京からわざわざ

事務局の鈴木紗菜さんが和服姿で登場してくれた。盛り上がったことは言うまでもない。
公募の子供部門の三点は、どれも素晴らしい。想像力の点では大人はとてまかないませんね。そして、子供のスケッチやアイデアを実際の作品として造り上げたサポートのオジサン達の技術も素晴らしい。

今年の新しい傾向としては、子供部門に負けては行かないというところか、一般部門の当日のプレゼンテーションの熱を入れ方が違ってきた。応募者が作品を愛していることは当然だが、それを短い時間で伝えるためのパフォーマンスが進化した。意味不明の言葉や創り出して叫ぶグループもあったし、実際に使わずに楽しんで酔いが回っているところ、寸劇で楽しませられたところもあった。いずれも提案する作品を愛する気持ちが伝わってきた。ともかく、審査していて楽しかった。これはこれでなかなか杉コレらしい傾向なので、これからどんどん進化させていってほしい。

作品の精度も年々上がっているのではないだろうか。アホな発想、ジョークのようなアイデア、それを大真面目に杉コレ作品に仕上げる。どの作品も欲しいものばかりでした。

メインテーマ

みんなが笑顔になれる場所

作品テーマ

ひとりじゃ、
ヤマイ!

2011年3月11日の東日本大震災後、多くの人々の間には、たくさんの木づな(絆)が生まれました。人と人が接し、会話をするにより言木(げんき=元気)が生まれ、笑声が聞こえ、それらが心の支えとなりました。私たちは、「杉の素材」を使って癒しの場や人を引きよせるものが何か提案できないだろうか...と考えました。...そうだ! ヤマイをつくらう!
「ヤマイ」には思わず人が集まり、楽しませるコミュニケーション装置としての魅力を持っています。それは商売ツールとしても、集客や商品を引き立たせる役目もしてくれます。今までの常識に捕らわれない、自由な発想で宮崎オリジナル「究極のヤマイ」を提案して下さい。

募集要項

- ◆作品募集 一般部門、子ども杉コレ部門ともに、上記のテーマに沿ったオリジナルのアイデア作品を考えて下さい。最終審査のあと、市街地で実際にみんなで使ってみてほしいと考えています。
- ◆応募締切 ・一般部門 2012年 7月20日(金)(メールにて受付)
・子ども杉コレ部門 2012年 8月18日(土)消印有効(FAX・郵便にて受付)
- ◆応募資格 【一般部門】高校生以上のほか一切の条件、資格を問いません。複数応募可
【子ども杉コレ部門】小学生もしくは中学生の作品。複数応募可
- ◆一般作品 【一次選考】7月下旬、応募作品の中から一次選考通過作品を30作品選考し作者にお知らせします。その後案内に沿って、8月20日までに二次選考用の10分の1スケールの模型を製作していただきます。
【二次選考】8月下旬、製作していただいた30作品の中から最終選考作品を8作品選出し、その後実行委員会により、実物大の作品を制作します。
【最終選考】11月10日(土)宮崎市にて実物大の作品の展示、選考会を実施。グランプリほか各賞を選考します。
- ◆子ども杉コレ 【予備選考】8月下旬、応募いただいた作品の中から最終選考作品を2作品選出し、その後実行委員会により、実物大の作品を制作します。
- ◆最終選考会について 【実物大作品】2次選考を通過した応募者は、実行委員、製作担当者との打ち合わせの上作品制作の指示をお願いいたします。指示に従い、実物大の作品に仕上げて行きます。

杉コレクション2012 in 宮崎 募集要項

メインテーマ
みんなが笑顔になれる場所

作品テーマ
ひとりじゃ、
ヤマイ!

募集要項

◆作品募集 一般部門、子ども杉コレ部門ともに、上記のテーマに沿ったオリジナルのアイデア作品を考えて下さい。最終審査のあと、市街地で実際にみんなで使ってみてほしいと考えています。

◆応募締切 ・一般部門 2012年 7月20日(金)(メールにて受付)
・子ども杉コレ部門 2012年 8月18日(土)消印有効(FAX・郵便にて受付)

◆応募資格 【一般部門】高校生以上のほか一切の条件、資格を問いません。複数応募可
【子ども杉コレ部門】小学生もしくは中学生の作品。複数応募可

◆一般作品 【一次選考】7月下旬、応募作品の中から一次選考通過作品を30作品選考し作者にお知らせします。その後案内に沿って、8月20日までに二次選考用の10分の1スケールの模型を製作していただきます。
【二次選考】8月下旬、製作していただいた30作品の中から最終選考作品を8作品選出し、その後実行委員会により、実物大の作品を制作します。
【最終選考】11月10日(土)宮崎市にて実物大の作品の展示、選考会を実施。グランプリほか各賞を選考します。

◆子ども杉コレ 【予備選考】8月下旬、応募いただいた作品の中から最終選考作品を2作品選出し、その後実行委員会により、実物大の作品を制作します。

◆最終選考会について 【実物大作品】2次選考を通過した応募者は、実行委員、製作担当者との打ち合わせの上作品制作の指示をお願いいたします。指示に従い、実物大の作品に仕上げて行きます。